



「トイレについて」

校長 嶋田 一郎

皆さんはトイレを大切に使っていますか。

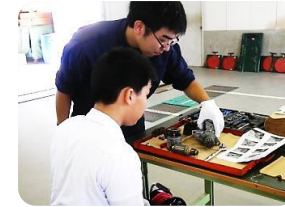
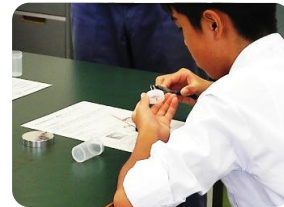
経営の神様と呼ばれた松下幸之助さんは、「その店の経営がうまくいっているかどうかは3つのことを見ればわかる」と言ったそうです。一つはお店の人がきちんとあいさつをしているか、一つは店の中が整理整頓できているか、一つは店のトイレがきれいに保たれているか。つまり当たり前前かが当たり前前かができているかで店の経営がわかるということです。

ところで、TOTO(北九州市)が、トイレをテーマに川柳を詠む「第12回トイレ川柳」の受賞者を10月12日(水)に発表しました。今年度のテーマは「日本独自のトイレ文化を再認識し、世界に自慢したくなるトイレ」でした。今年度の最優秀賞には「日本から 世界のおしり 洗いたい」が選ばれました。ウォータースタイル賞は「音姫は 地球に優しい お姫様」。小学生以下のキッズ賞に「ばあちゃんの くるひはトイレ なぜきれい」がありました。他に「お尻から知る日本の 技術力」もありました。

さて、本校のトイレはきれいに使われているでしょうか。皆さんはどう感じていますか。私はもっと大切に使うと考えています。トイレがきれいだと一日が気持ちよく過ごせます。皆さんで、本校トイレを自慢したくなるトイレにしていきましょう。

「第3回オープンスクール」を開催

10月1日(土)、第3回オープンスクールを開催しました。今回は、各科とも生徒一人ひとりに対応でき、充実した内容となりました。参加した中学生も自ら触れて学べるものが多く、楽しそうに体験する姿が印象に残りました。アンケートでも、「良い体験が出来た」という感想を多くいただきました。本校のオープンスクールを体験してくれた、多くの中学生が本校を受検してくれることを、心待ちにしています。



前期の反省から後期に繋ぐ

前期の反省を7月に実施した学校評価(生徒アンケート)からみると、各アンケート項目で70%~80%程度の評価数値を維持していることから、全体の評価結果としては良好であると思われます。今回、特筆すべき項目は「わかりやすい満足のできる授業が多い」、「佐実タイム等の取り組みで進路意識の向上がみられる」の項目が向上しています。これは、昨年度の反省を生かし、年度当初の導入期指導や各科において積極的な資格取得指導等の成果があらわれているようです。また、2・3年生において、昨年度の評価と比べて向上している項目が多く、佐実生としての自覚の向上につながっているようです。

課題が残る項目もありますが、校長先生がよくお話しされる「ビッグ・ピクチャー、スモール・ウィン」、大きな目標を達成するためには何百・何千という細かい作業が大事であるという考えで、自己を高めていくことを期待します。

「長崎県高校生溶接技術競技会」で敢闘賞!

平成28年度第9回長崎県高校生溶接技術競技会が、9月25日(日)に県立長崎高等技術専門校で実施されました。県下の工業高校生が延べ91名(被覆アーク溶接の部(N-2F)に25名、被覆アーク溶接の部(A-2F)に32名、炭酸ガス半自動溶接の部に34名)が出場して競技が行われました。

本校からは、被覆アーク溶接の部(A-2F)に3名と炭酸ガス半自動溶接の部に6名の機械科3年生計9名が出場しました。

出場する生徒は、課題研究の溶接部門の生徒が週3時間の授業および溶接講習会に参加して競技に臨みました。その中で、被覆アーク溶接の部(A-2F)で、女子の青野莉帆さんが敢闘賞(個人)を受賞し、11月21日(月)に長崎市で開催される表彰式に参加することになっています。



「第48回文化祭 ~ 彩 ~」開催の御案内

11月6日(日)、第48回文化祭を開催します。

今年度は、テーマを「彩(いろどり)」とし、各科展に力を入れるとともに、展示部門・ステージ部門等、生徒たちの日頃の学習成果を御覧いただきますようお願い申し上げます。

また、育友会バザーの商品点数が少なく、各御家庭におかれましては、今一度、御提供いただける商品がありましたら、お子様を通じて御協力いただきますようお願いいたします。



育友会評議員の皆様による
アロマキャンドル作成風景